

患者様へ 自由診療にむけて 院長より

この度、平成21年12月1日より新医療体制を取り入れさせて頂く事に致しました。

胃並びに大腸内視鏡検査につきましては自由診療【自費診療】とさせていただきます。

平成15年7月に全国でも珍しい内視鏡検査専門クリニックとして、これまで胃内視鏡検査6,935件、大腸内視鏡検査8,577件（過去総数約5万件）の内視鏡検査を行って参りました。

院長の私が一人で外来診療、並びに内視鏡検査を行って居りましたが、これまで外来診察に予約制を取り入れて居りませんでしたため、内視鏡手術が長引いた場合は外来患者様を長時間お待たせしてしまうという問題も御座いました。

また、下血や腹痛を訴える緊急の患者様の検査の為、実際に一日の検査予定数を超えることも多々御座いました。私自身、目の回る忙しさの中で診療を行って居りましたし、私を支えてくれているスタッフ達も限界を超えながら、一生懸命取り組んでくれておりましたが、本来、私が掲げて居りました患者様一人一人に十分な時間をとり、丁寧かつ優しい診療を行うことが難しくなって参りました。

また、現在の保険診療には医療の限界も出てきており、質の高い医療を提供できない問題や制限も御座います。例えば、ピロリ菌は胃がんの原因のひとつですが、ピロリ菌検査を保険で受けた場合でも適用となる患者様は胃・十二指腸潰瘍を患っている方のみが対象となります。それ以外の方がピロリ菌検査を希望されても混合診療とされてしまうためにきちんとした検査が受けられない現状が出てきています。

大腸での内視鏡手術の際にも、これまで私は様々な治療手技を考案し、開発して参りました。大きな腫瘍性病変の治療には、ポリープを切除する際や切除後の完全縫合術など多くの処置具を使用します。これらの手術器具につきましても新品の物の方がより正確な切除が可能であります。これらの器具を駆使し、高い精度の技術を存分に発揮できるためにも自由診療化が必要と考えて居ります。

これらの問題を解決したいという思いもあり自由診療化の実現に至りました。

外来予約時間並びに内視鏡検査時間枠をきちんと定め、お待ち頂く時間を最小限として患者様への問診、診察や必要とする検査内容、また内視鏡検査直後の結果説明、更には今後の検査間隔について等、患者様へのご説明に納得頂ける時間をかける事が可能となります。

当院では高画質胃内視鏡検査、並びにハイビジョン大腸拡大内視鏡による検査を行います。

NBI (Narrow Band Imaging) という特殊光や色素内視鏡を用いて、喉頭・咽頭がん、食道がん、胃がん検診を行っており、大腸については、通常の観察では発見の難しい“幻のがん”と言われる、平坦・陥凹型がんについても数多く発見して参りました。

内視鏡観察時は十分に時間を費やし、より丁寧な観察を行う事は勿論の事、拡大内視鏡により100倍拡大ズーム機能のハイビジョン内視鏡を用いて高画質・高像解度の画像から、より確実な診断を行いますし、またポリープの発見だけではなく、その病変が良性であるか悪性（がん）であるか、あるいはそのまま経過観察のポリープで良いかといった判断を瞬時に行うことができます。内視鏡手術が必要な場合には、即時に手術を行います。一回の内視鏡検査で診断、治療、内視鏡手術まで一日で終了します。一般の施設では、ポリープから一部の細胞を採取し病理検査に提出し、その結果を待つてあらためて内視鏡手術、入院というような措置がとられることが多いのですが、当院では、全ての患者様が日帰り内視鏡手術を受けられるため、入院の必要は御座いません。

またポリープが発見された場合には、新品の処置具を用いてポリープを切除致します。新品の処置具はポリープ切除を的確に行うことができ、感染症の危険なども御座いません。

内視鏡手術後、約1週間はポリープ切除後の傷口より出血することがあるため、傷口を完全縫合し出血の予防にも努めております。その場合もポリープ切除後潰瘍面に対する完全縫合を行います。20mm以上の大きなポリープ切除後潰瘍面に関しては私が考案し特許を取得しました8リングを用いての完全縫合術を必要性に応じて行います。

ポリープ切除後に極めて稀に出血することもあるため、手術後1週間は日常生活に制限が出て参りますが、ポリープ切除の手術を行った患者様には、安心してお過ごし頂くため、私の携帯番号をお知らせして24時間対応致しております。

外科的手術が必要であると診断した場合には紹介先施設に病変の詳細な記録と診断情報を提供いたします。

内視鏡検査結果に付きましては、全て詳しい検査結果と資料を揃えてご自宅に郵送させていただきます。外来に結果を聞きにおいで頂く必要は御座いません。

勿論、悪性が疑われた場合にはすぐにご本人に連絡を入れ来院して頂き、しかるべき専門の先生をご紹介させていただきます。

また胃並びに大腸内視鏡検査の二つの検査が一度に一日で受ける事も可能となります。

こうした制度を取り入れます事によって、更に一層、患者様には安心してご来院頂き内視鏡検査を受けて頂き、私は、より高い精度の医療を提供させて頂けると信じて居ります。これまでも患者様一人一人を大切に、丁寧かつ優しい診療を行うことを心がけて参りました。新体制による自由診療化を始めます事により、更に患者様のために、ゆとりある最高の診療を行い医療技術の提供させて頂いただけると考えて居ります。

今後も長年培って参りました私の技術をもとに最新鋭の器械を駆使しながら、痛みのない内視鏡検査はもちろんのこと、がんの早期発見、早期治療に努めて参りたいと思っております。今後とも皆様の温かいご理解を宜しくお願い申し上げます。

藤井隆広クリニック 院長 藤井 隆広

なお、大腸のポリープ切除手術を受けられた場合は、各保険会社から手術給付金が支払われると思います。生命保険等に加入されている患者様は、ご自分が加入されている、保険会社に内容をお問い合わせ下さい。

また当クリニックにお支払頂きました会計のすべては医療費控除にお使い頂けます。保険会社から手術給付金が支給された場合、金額によりましては、医療費控除額が減額されることもあるようです。患者様ご自身でご確認頂きたいと思っております。